

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 5 月 7 日

事業名称		小学校健康管理事業費・中学校健康管理事業費【児童生徒の定期健康診断事業】									
予算科目	款 10	教育費	項 2 3	小学校費 中学校費	目 4	学校保健衛生費	事業番号	1			
事業の種別	☐ 市単独 ☐ 補助対象 ☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	教育総務		課	学務		係	課長名	斎藤 謙二郎			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	1 - 1			
【施策名】 学校教育の充実							総合計画書 (ページ)	31			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	市立小・中学校の児童・生徒			市立小・中学校の児童・生徒数							
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
2 指標の推移	疾病等を早期発見できるとともに、保健上必要な助言を受けることができる。			受診率							
	→										
	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
	学校保健安全法及び学校保健安全法施行規則に基づき、児童・生徒の健康保持・増進を図るため、定期健康診断を実施した。			健康診断受診児童・生徒数							
3 経費	③			→							
4 環境変化等			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	6592	6562	6556					
	成果指標	②の数値	%	99	99	99					
	目 標	②の目標値	%	100	100	100					
		目標値設定の考え方 全ての児童・生徒が健康診断を受診することが、この事業の目的である。									
	活動指標	③の数値	人	6,535	6,510	6,490					
	事業費(実績)	円	6,155,264	6,089,219	5,880,224	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
		一般財源	円	6,155,264	6,089,219				5,880,224		
		特定財源	円	0	0				0		
(うち受益者負担)		円	0	0	0						
所要人数(再任用以外)		人	0.2	0.2	0.2						
所要人数(再任用)		人	0.0	0.0	0.0						
職員人件費(再任用以外)		円	1,650,600	1,648,800	1,662,000						
職員人件費(再任用)		円	0	0	0						
事業費+人件費		円	7,805,864	7,738,019	7,542,224						
(1) 開始年度		不明 年度									
(2) 環境の変化											
		アレルギーと診断される児童・生徒数が増加している。									

事業名称	小学校健康管理事業費・中学校健康管理事業費【児童生徒の定期健康診断事業】			
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係 課長名 斎藤 謙二郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし。	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）	
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし。	
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 特になし。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 特になし。	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 成果水準を満たしているため、今後も現状通り事業を継続していくことが重要である。	
	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 学校教育の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 特になし。	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 特になし。	